第一東京市立中学校＝東京都立九段中学校＝東京都立九段高等学校〔同窓会報〕

菊友會報

第80号　平成20年1月1日
編集発行人＝菊 友 会
会長＝桑田芳郎／編集＝広報委員会
＜事務局＞
〒102-0073　東京都千代田区九段北 1-7-3
昭栄ビル２階
TEL (03)3263-2448 / FAX (03)3263-1033
Web Site -- http://www.kudan-net.com/　Mail Address -- kikuyukai@kudan-net.com

楽しかった！菊友会大会

90歳の大先輩から30代まで会員171人が一堂に集う

「お待たせいたしました。ただいまより平成19年度菊友会大会を始めさせていただきます」

10月20日（土）午後５時半、司会者の声に東京會舘９階ローズルームに一瞬静寂が。そして髙橋直人菊友会理事長（高14）の開会の辞。続いて、第一部特別講演、「大相撲の魅力」は元NHKアナウンサー内藤勝人氏（高13）。32年間の大相撲実況経験から、臨場感溢れる話に皆聴き入りました。

６時40分、第二部懇親会開始。桑田芳郎菊友会会長（高７）は挨拶の中で、自身が中等教育学校生徒全員を前に講演をした折、生徒から活発な質問を受けたときの印象に触れ、「九段の伝統が継承されていく若き土壌を強く感じ、前途有望な若者たちが集っていることを肌で実感した」と報告しました。

歴代会長が勢ぞろい。青年さながらの九段パワーです

その後、来賓の挨拶、乾杯、会食、歓談と続くのは恒例のこと。お楽しみの福引は今回もたくさんの会員から景品の提供をいただき、２人にひとりがお土産を手にしました。そして最後は、これ無しには終わらない校歌と至大荘歌の大合唱。来賓を含め総勢182人、楽しく、和やかな大会でした。

皆さんお元気で、また今年もお会い致しましょう！

⇒2㌻に挨拶、講演記事を掲載しました。

社団法人九段の定款が変更されました

菊友会員も正会員に。ぜひ加入ください

前号でお知らせのとおり、至大荘、尽性園を管理運営する社団法人九段の定款変更が認可され、菊友会会員も社団法人九段の会員に入会できることになりました。

菊友会の考え方を法人九段の運営に反映してもらい、また運営そのものをサポートするためにも、菊友会会員の数多くが法人九段の会員になっていただけることを期待します。

入会ご希望の方は、本号に同封いたしました「社団法人九段　会員申し込みのご案内」を参照ください。

九段高校「健康教育週間」

養老孟司さん オープン講座で講演

全国版で評判の九段高校「健康教育週間」。平成19年度は12月11日～15日にわたって実施されました。菊友会先輩が助言者となる「現役生徒との異世代コミュニケーション」に続く最終日は、全都民が対象のオープン講座。養老孟司氏が「人生で一番大切なこと」について講演しました。

学校経営評議会 髙野光正氏（高4）会長に就任

九段中等教育学校は、公立では先進的な「学校経営評議会」を設置しています。７月、同評議会会長に髙野光正氏（菊友会顧問）が就任しました。副会長は池本修一氏（日本大学教授）。評議会は、中等教育学校の教育活動を評価、検証し、経営診断、教員の顕彰、特待生の審査等を行います。

髙野氏は「学校経営評議会は私立でいう理事会に相当する機関。任務は重い。九段のすばらしい伝統がきちんと継承されるよう菊友会の知恵と意見を束ねて臨みたい」と決意を語られました。

九段中等教育学校　初の至大荘行事 荒天の中、泳いだ中等４年生

九段中等学校は７月31日～８月４日、４泊５日で千代田区立として初の至大荘行事を行いました。高校１年生に当たる中等４年生123人が参加、教職員ほか、卒業生40人が游泳助手、保健助手として行事を支援しました。若林尚夫千代田区教育長、山崎正己九段高校校長、一游会（水泳部OB会）森彰英会長、菊友会からは赤司久雄理事も駆けつけ、行事の成功を見守りました。

⇒４～５㌻に詳細記事を掲載しました。

菊友会会費 未納の方へ

平成19年度維持会費（19年４月～20年３月）納入振替用紙を同封しております。お早めにお振込みくださるようお願い致します。

⇒詳細8㌻。行き違いの節はご容赦ください。

2008年　明けましておめでとうございます

菊友会行事のページ

菊友会大会での挨拶から

桑田芳郎　菊友会会長

本日はかくも多数お集まりいただきありがとうございます。中学７回卒業で90歳になられる大先輩もご出席で華をそえていただいております。

今年は至大荘開設80周年にあたり、6月16日記念式典があり、菊友会からも20名が参加しました。また、念願だった社団法人九段の定款変更が許可され、菊友会員も会員になれるようになりました。この件に関しご尽力いただいた鍛治先輩はじめご関係された方々に心からの御礼を申し上げます。

話は変わりますが、今年、私も中等学校の生徒に対し九段の伝統を話す機会があり、「小さな物の大きな価値」という題で顕微鏡の世界の面白さについて話しました。物事に好奇心を持つことの大切さ、そこから発する心理の追求、チャレンジ心、自分の心に正直に生きる勇気について話したのですが、生徒たちから実に活発な質問を受けました。10倍以上の競争で入学した生徒たちを迎えて、前途有望な若者が集まっている土壌を肌で強く感じました。母校の益々の発展を祈念致します。

髙橋直人　菊友会理事長

菊友会会員総数24,049名の内事務局で住所を把握している16,000人に会報や案内状を送っていますが、毎年400通ほど返ってきます。一人でも多くの会員に情報が届くようにしたいので、会報が届いていない人がいたらぜひとも菊友会事務局に連絡するよう呼びかけてください。菊友会では至大荘行事への協力、健康教育週間への賛助参加、図書寄贈などを通して母校の発展に協力するとともに会員相互の親睦に努めています。

若林尚夫　千代田区教育長

中等教育学校が、開校して2年目で校長が交代し、ご心配の向きもあったかと思いますが、新宿高校から高木克校長に来ていただき順調に経営が進んでおります。子供たちも九段高校の校舎で一緒に学んでおり、大変仲良くやっております。また今年は至大荘行事に初めて中等4年生が参加しました。私も行きましたが、台風の影響で波が高く泳ぐのが難しい状況の中で、大勢の菊友会の皆様と地元の漁師さんの協力があって、しっかりと九段の伝統行事を守っていました。感謝申し上げます。

校長が変わると学校の経営方針や教育内容が変わることもありますが、髙野前菊友会会長に学校経営評議会の会長をお願いしております。指導内容、育成方針などを評議会で検討していただき、今後も菊友会のご指導を仰ぎたく存じますので、引き続き中等教育学校へのご支援をお願い申し上げます。

菊友会大会講演　元ＮＨＫアナウンサー

内藤勝人氏（高13）大相撲の魅力

大相撲の国際化

私が初めて大相撲放送に関ったのは昭和47年名古屋場所、この場所ハワイ出身高見山が外国人として初めて幕内優勝。大相撲の歴史の中で記念すべき画期的な場所でした。表彰式に届いたニクソン大統領からの祝電に涙した光景が記憶に残っています。高見山が日本に来たのは昭和39年、食べ物も風俗習慣も違う日本で大変苦労して横綱、大関も作れなかった大記録、幕内出場回数1,430回、幕内在位場所数97場所、いずれも史上第一位の記録を残しました。高見山の活躍に憧れて、小錦、曙、武蔵丸というハワイ出身の巨漢力士が活躍します。曙が横綱昇進の時「東関親方が切り開いて、小錦関がつけてくれた道を自分はただ歩いただけです」と言った謙虚な言葉の中に先駆者高見山の偉大さを感じます。現在ではモンゴル勢やヨーロッパ勢が進出して大相撲の国際化と盛んに言われています。

平成19年の秋場所番付でその状況をみると十両以上の関取70名のうち外国人力士は史上最多の6ヵ国19名、3名に1人は外国出身の関取です。

平成14年2月から外国人は1部屋に1人ということになりましたが、幕下以下には素質に恵まれた外国人が多いので、しばらくは外国人関取が増えていくと思います。まあ、日本の若い力士もそうなのですが、特に外国から来た力士達には勝負だけでなく文化的な面も色々と学んで欲しいと思います。

相撲番付による階級制

大相撲が他のスポーツと違う点は、番付による階級制で、一番下から、序の口、序二段、三段目、幕下、十両、幕内、三役、大関、横綱となっているところです。十両に昇進すると関取と呼ばれ、ちょんまげから大銀杏になり、木綿のまわしから絹のしめこみに変わります。給料が出て個室が与えられ、付け人がつき、化粧まわしをつけて土俵入りをします。幕下とは雲泥の差です。

毎場所千秋楽の3日後に番付編成会議が開かれて次の場所の番付が決まります。階級が上がっていくに従って四股名も大きくなっていくので力士達は自分の四股名の字を大きくすることを目標にしています。これは平成19年秋場所の番付ですが、ここには723名の力士の四股名だけではなく、親方、行司、若者頭、世話人、十両以上の呼出、といった関係者全員の名前が書き込まれています。実際には元書きといって4倍のものを書きます。今は式守勘太夫さん書いていますが次の九州場所からは木村恵之助さんに代わります。30代木村庄之助さんは木村容堂時代に15年間番付書きを担当しました。6、7本の筆を使い分け10日間徹夜の作業で終ると手首が腱鞘炎になったと言っていました。

巴戦による優勝決定戦

特別印象に残っている取り組みをご紹介しましょう。平成5年名古屋場所、横綱・曙、大関・貴乃花、関脇・若乃花の3人は千秋楽の取組終了時点でともに13勝2敗で並びました。巴戦による優勝決定戦で若貴の兄弟対決を期待して、テレビの瞬間最高視聴率は66.7％という史上最高を記録しました。勝負は曙が若貴を続けて破り優勝、横綱の面目を保ちました。この3人は昭和63年春、初土俵の同期生です。ライバル同志の競い合いが大相撲の面白さを伝えていくのだと思います。

このところ大相撲は不祥事が続きました。1年の最後を締めくくる九州場所、明るい話題を提供してもらいたいものです。

菊友会大会福引に景品を提供してくださった方々（敬称略）

橋本　政雄（中13）	文明堂カステラ（６箱）
吉田　忠男（中16）	ビール券（５枚３組）
鈴木　謙一（中21）	東京会館洋菓子（10箱）
世古　圭助（高１）	トートバッグ（３セット）
一島　英治（高４）	著書「麹」（10冊）
大井　基臣（高４）	宝来屋和菓子（10箱）
井上　誠之助（高７）	チェコ製ガラス置物、象牙根付（各１個）
桑田　芳郎（高７）	ワイン（５本）
宮島　　徹（高７）	丹後久美浜の鯛せんべい（３箱）
内田　栄一（高８）	「ふな亀」うなぎ料理コース２人前（５枚）
勝俣　友子（高８）	クリップ「ラッキーキャット」
岡田　　繁（高９）	石坂ゴルフ、メンバー並プレー券（３組）
稲坂　良弘（高13）	「銀座香十謹製 明治の香水香『銀座花粒』」（８個）
遠山　ちづ子（高19）	背中枕「眠べえ」（２個）
熱田　陽子（高24）	著書「野菜の切り方」（７冊）
相原　　學（高39）	赤十字記念ハンカチ（２組）

開設80年の至大荘
懇親会に80人

8月25日、守谷のトンネルをくぐると至大荘。海を1日中堪能した家族、仕事を終えて駆けつけた者、プレゴルフから取って返した者など80人（家族8人、子供6人、幼児3人）が養気閣に集合しました。

まずは夕餉の宴で昔話に華を咲かせ、当選率抜群のお楽しみビンゴゲームで運試しをしました。終わると夜の海岸に出て花火大会。たくさんの花火に子供達は大はしゃぎ、大人達も子供のように楽しみました。

1日目の最終は「至大荘と共に、を歌う会」。新至大荘歌を覚えようと何度も合唱しました。昨年80周年を迎えた至大荘、最後のアトラクションを終えた後も、この夜はどの部屋も遅くまでにぎやかでした。

翌朝、爽やかな空気を胸いっぱいにラジオ体操。広場に全員集合する頃には、元気な連中は早朝の釣果を刺身にさばいて皆に振る舞っていて、仲間たちはびっくりしていました。昨夜のアルコールを飛ばした後のおにぎりと地元のあさりがいっぱいの味噌汁、簡素な朝食がとりわけ美味しい。

講演会（下述）の後は、バーベキューをたらふく食べ、三々五々家路につきました。

菊友会ではご家族での懇親会参加を歓迎しています。部屋割りなども配慮をしていますので、ご心配なくご参加ください。次回はもっとたくさんのご家族、チビッコをお待ちしております。

英国ホームステイで日本紹介
勝俣友子氏（高8）の講演

演題は、「至大荘からおむすびころりん」。長年教職にあった氏が一念発起して英国へシニアホームステイをした際の体験談に加え、「おむすびころりん」の英語紙芝居の講演をしていただいた。

氏は日本文化の紹介に昔話を英語で上演する事を思いつき紙芝居を作ったという。

おむすびをriceballと表現、身振り手振りで熱演する姿にみんな感じ入った。まさに体あたりの文化交流！自らの体験を豊かなセカンドライフを考える一助となればと締めくくられた。

第15回東京校歌祭 秋空に歌声響く

10月6日、第15回東京校歌祭が日比谷公会堂で開催されました。九段の出演は2校目で午後2時20分。中11から高32回生までの25人が参加して、日比谷公開堂の舞台で校歌と至大荘歌を歌いました。事前に簡単な練習をした成果で、まずまずの合唱結果。試験のために現役生徒に参加してもらえなかったのは残念ですが、「もう少し参加者が増えてくれるとよいが」の反省も。

今年は10月4日（土）の開催予定です。皆さん応援してください！

関西菊友会大会

25周年記念総会盛大に開催

関西菊友会25周年記念総会は11月10日（土）大阪キャッスルホテルで行われ39名が参加。中村会長（高13）が25年間会を支えてきた歴代会長と女性幹事へ謝意を述べた。菊友会会長桑田芳郎氏（高7）からは新生母校が新しい試みによる一中・九段精神の新しい伝統を創り出しつつあるとの報告があり頼もしく感じた。

また菊友会大会で講演された内藤勝人氏（高13）の「スポーツ放送40年」の講演があり、昭和54年、和歌山・箕島対石川・星稜の同点ホームランによる延長18回に及ぶ熱戦、大阪の谷町に住んでいた大相撲好きな医者が力士を無料で治療したことから、力士のひいき筋を「たにまち」という由来や力士の国際化等を興味深く伺った。最後は曙・若乃花・貴乃花による優勝決定戦で曙が連続2勝したときの実況で終り名勝負に立ち合った感動が十分伝わってきた。

第2部は、関西国際空港建設中だった第3回以来参加されている竹内良夫氏（中13）による乾杯で始まり、本部や遠路よりの10名の参加で、昨日のゴルフに合わせ、ビンゴゲームと、記念総会は大いに盛り上がった。

次回第26回は11月1日（土）に開催予定です。

（湯浅良男・高14）

潮風に吹かれて 至大荘懇親会プレゴルフ

恒例のプレゴルフ大会は8月25日（土）勝浦東急ゴルフコースで8組30人（女性7人、初参加5人）で行われました。記録的な猛暑でしたが、心地よい潮風に吹かれながらのセルフプレーはリゾートコースならではの醍醐味。いつもの新ペリア方式で行われましたが、結果は赤司久雄さん（高15）が優勝。準優勝は三井貞義さん（高7）、3位は小嶋三朗さん（高13）が獲得しました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます
前号以降にご逝去が判明した方々です（敬称略）

恩師	杉村　保	中13	山田　敬次	高2	高野　勝美
中1	堀川　直義		山中　治郎		高村　與三松
中2	板坂　清	中14	板井　呂功朗		中村　和夫
	大島　昌信		田中　正継		野口　重一
中5	浅尾　祐造	中15	橋川　泰		則岡　慶次
中6	大島　義一	中16	大山　泰		浜野　恭一
	鈴木　充		川口　豊		帆刈　弘
中7	吉川　經造		関口　清一郎		松本　朝治
中8	園田　惠三		高木　幹		丸井　伸之
中9	中村　正五		松井　龍雄		茂木　源和
	中村　達夫		松室　武仁夫		山田　勝久
	松原　傳藏	中18	斎藤　俊昭	高3	神野　洋三
中10	上原　信庸		鳥居　三樹夫		平間　榮生
	辻　隆成		福井　博次	高4	丸田　義基
	羽仁　浩	中19	若林　豊	高6	阪本　豁
中11	八木　彈茂		鈴木　武彦	高9	叶屋　昭夫
	米原　金蔵	中21	今井　一与	高10	田中　哲郎
	鷲尾　智一郎	高2	浅田　光治	高13	高階　美和子
中12	安食　卓郎		岩井　尚文	高16	三輪　悠子
	島根　茂雄		大島　宏	高19	松崎　三喜雄
中13	杉山　重春		木村　大陽	高20	田川　宗数
	妹尾　知紀		佐藤　守男	高28	鈴木　淳
	中村　芳生		酒井　幸雄	高43	三崎　伯

母校との交流のページ

進路講演会

稲坂良弘氏（高13）オンリーワンを目指す

10月24日、九段高校は2、3年生560人を対象に進路講演会を行いました。
先輩から実社会での経験を聞き、生徒が進路を考えるヒントにしたいとするこの企画、
今回は10年毎に転身を重ね、スーパー人生を送っている稲坂良弘氏が講師を務めました。

稲坂氏のプロフィール

■10代…学生。学生の間にどこまで出来るかと、高校では演劇部で脚本・演出・出演に熱中。大学時代は早稲田大学の演劇学科と、劇団文学座付属の演劇研究所とのダブルスクール。九段の部室にも足繁く通い、脚本・演出で、九段演劇部に東京都演劇コンクール優勝をもたらしました。

■20代前半…俳優。「舞台、テレビに出てみよう」と劇団に属し、ＮＨＫテレビドラマに出演。

■20代後半…子供劇の脚本作家。ヒットを飛ばすことを目指し、5年間で25000枚も執筆し、世に残る大ヒット「カエルのケロヨン」を生み出しました。氏は日本でカエルをキャラクターにした初の人。偉大なひらめきの基が高校の夏休みの課題でした。「誰もが知っている本の感想を書いても人と比べられるだけ。先生が知らない本を探そう」―「そうだ、あの時、図書室の古い蔵書の外国童話に、カエルが出ていた！」

■30代…花形CMディレクター。30年来、今も続いているお線香「青雲」のCMを始め300本のCMを企画、制作します。

生徒の中に入って質問に答える稲坂氏

■40代…広告会社と業界団体役員。広告業界を極めました。

■50代…香道の専門家。人生後半にやるべきこととして「日本文化」に的をしぼります。

■60代…香り文化の伝道師。430年続く老舗・香十の社長に就任。銀座から世界に日本の香り文化を発信しています。

★

絵に描いたような見事な転身を「この道、幾筋もの人生」と稲坂氏。しかし輝かしさの裏には、転向への不安を断ち切る決断、地道な努力がありました。「いつも人との出会いが、次の舞台を引き寄せた。チャンスには過去の職業を断ち切ってチャレンジに徹した」と言います。

どの舞台でもオンリーワンになろうと努めた稲坂氏。やりたいこと＝得意技で楽しく生きるためには、①頭を使う②体を使う③得意分野に特化して時間を使う④出会いを大切にする⑤チャンスは逃さない⑥感覚を磨く。一つひとつ具体的な方法や事例を出して分かりやすく、1時間たっぷり後輩たちに伝授しました。

質問の時間では、生徒は、難解な部分の問い直しや、「年収は？」「皆がオンリーワンを目指したら世界はどうなる？」など、正直な気持ちをぶつけ、進路講演は最後まで真剣な空気に包まれました。（田ノ倉）

九段高校の健康教育週間

講師への依頼も生徒たちが行います

幾つもの賞に輝き、全国の学校のお手本となっている九段高校の「健康教育週間」は、平成13年から全校生徒対象に始まった行事です。発案者は竹下君枝養護教諭。竹下先生は「在学中の3年間を健康に過ごすだけでなく、80歳年の生涯を健康に生きて欲しいという願いをこめて、生徒自らに健康について考えてもらおう」と考案されたと言います。

「健康教育週間」の期間中は大学教授や医師、助産師ら多数の講師を招き、心と健康について学びますが、竹下先生はこの大事業の一切を生徒たちの「健康教育プロジェクト」に任せています。生徒たちがテーマ設定をし、講師に依頼します。面識のない大人に電話で説明し、交渉し、当日の司会・進行も行います。

平成19年12月11日の思春期講座では「性」をテーマに22講座。13日は「心と体の健康づくり」をテーマに、心のメカニズムやツボ健康法、アロマテラピー等18講座。今回も健康教育プロジェクトの生徒10人と保健委員が力を合わせて創り上げました。

生徒対象の多彩な講座の他にも保護者対象の講座「もしかして更年期？」、地域住民に開放した養老孟司氏の講座、また菊友会の先輩と生徒がセッションする異世代コミュニケーションと充実した内容でした。

こうした内容と取り組みは高く評価され、平成17年度には何百という小中高、養護学校が応募する中で、日本学校保健会主催の「教育推進学校・最優秀校」に選ばれ、翌18年度には文部科学大臣賞を受賞したのです。

至大荘の 歴史に新たな１ページ

2007年、開設80周年を迎えた至大荘に、記念すべき新たな歴史の1ページが加わりました。7月31日～8月4日まで、中等学校"初"の至大荘行事が4泊5日で行われたのです。4年生123人が参加しました。

中等学校内では当日を迎えるまで不安と戸惑いがあったといいます。「最初は、出来るのだろうかと思っていました。でも出来たのですね。生徒が本当によくやりました」と信岡信吾副校長は考え深げです。

成功の裏には多くの人達の支援がありました。九段高校からは山崎正己校長の現地視察を始め、游泳指導に当たられた増田三郎先生、荘内の生活指導に当たられた日達芳郎先生等の全面的なバックアップがありました。観海亭亭長を務めたのは加藤拓也氏（高55）。ほか28名の游泳助手と11名の保健助手の誇るべき菊友会会員のチームワーク。漁師さんを始めとする地元関係者の方々の変らぬ協力。そしてもちろん生徒達の頑張り。伝統の至大荘行事は、見事に中等学校へと引き継がれました。

「先輩方は恐いけど、命がけで私たちを守ってくださっていると感じました」（生徒の日誌より）

浜に立った男子生徒のいでたちは昔変わらぬえんじの褌（海水パンツの上から褌を絞めていた生徒も数人）。游泳助手の緑の帽子も従来通り。游泳訓練中飛び交う助手達の叱咤激励は以前にも増して激しく、守谷の浜で展開された光景は80年の伝統そのものです。

最終日前日の遠泳はあいにくの台風の影響で大荒れでしたが、それでも守谷湾内で実施されました。参加した生徒達が膝をガクガク震わせながらゴールの浜に立つと、浜で迎えた生徒達や近所の住人、観光客からも大きな拍手が送られました。

5日間を通じて、守谷の海は新しい九段生を初日は静かに向かい入れ、途中台風接近で大いに荒れて試練を与え、最終日はまた穏やかに白波を浜に打ち寄せながら「来年また来いよ！」と見送ってくれたのでしょう。全ての行事が予定通り終わって至大荘を後にする生徒達の目は、大仕事をやり遂げた達成感で皆きらきらと輝いて見えました。

「至大荘を経て、本当の意味で生徒が九段生らしく成長した。生徒は、すっかり至大荘に染まっています」と信岡副校長。「至大至剛」の精神は間違いなく九段中等学校に受け継がれて行くと確信しました。（赤司）

助手たちは、遊泳訓練を終えると、すぐ浜で簡単なミーティング

「至大荘のまとめとして、浜で助手の先輩方と語り合いました。全力を尽くした分、涙も流れます。4泊5日の至大荘が今日で終了しました。一回りも二回りも大きくなって帰ってきました。がんばったね。一生忘れないことでしょう」（生徒の日誌より）

クロスカントリーレース 女子の元気、圧倒的

11月22日（木）、真っ白な富士山も見える快晴の中、クロスカントリーレースが尽性園で開催されました。

3年生は受験準備のため不参加、中等学校から進級した4年生（高1）の参加も無く、2年生男子65人・女子187人の合計252名が健脚を競いました。

競技は、多摩川の調整池用の河川敷を男・女それぞれ3周で9.5km・6.5kmになるように折り返し点を設定、11時ごろスタートし、12時には終了。各自河川敷で弁当を広げて歓談の後1時過ぎに散会しました。

公道を20kmも走ったクロカン時代と比べるとチョット寂しい一方、多数派の女生徒の元気さが目立つ楽しい大会でした。

全教室が舞台、熱気いっぱいの「九段祭」

9月15日（土）～16日（日）の2日間、九段高校2、3年生に中等4年生が加わって恒例の「九段祭」が行われました。九段祭は5月の体育祭と並び、生徒が主体となって運営する秋の大イベント。特に各学年、全18クラスが競い合う演劇に熱が入ります。

上級生は「ＣＡＴＳ」「オペラ座の怪人」「ライオンキング」、中等4年生は「桃太郎」などが教室を劇場に熱演されました。

その他、部活動や同好会、保護者の展示・発表も充実。訪れた先輩たちは後輩との再会、交流を大いに楽しみました。

中等学校は「文化祭」日ごろの学習成果発表

「九段祭」と同日、中等学校の1～3年生も「文化祭」を開催。こちらは学習成果を発表する展示が中心でした。一見地味。しかし丹念に見ると展示作品の1点1点に、考え、科学する視点があって、一人ひとりの創意の多様さに驚かされました。学びを楽しんでいる生徒たちの様子が伺える、中身の濃い文化祭でした。

寄贈図書

母校に著作品を贈ろう！

菊友会は、卒業生やＯＢ会の著作品を母校に寄贈し、図書室に保管・閲覧、永く保存していただく事業を行っています。お手持ちの関係図書をぜひご寄贈ください。新旧刊を問いません。お待ち致します。

九段高校図書室「卒業生の著作品コーナー」に、新たに次の著作品が加わりました。

また宮島徹氏（高7）からは、「自分で持っているよりお役に立てるなら」と19冊ものご寄贈をいただきました。贈られたのは、泡坂妻夫氏、斉川貢作家・安岡章太郎氏、同・近藤啓太郎氏、直木賞作家・なかにし礼氏、ロケット博士・糸川英夫氏、元ＮＨＫの名司会者・鈴木健二氏等の貴重な本ばかりです。宮島様、大切な蔵書をありがとうございます。また著書をご寄贈くださった皆様に、心からお礼申し上げます。（敬称略）

【ご寄贈いただいた著作品】

◆泡坂妻夫（中2）奇術探偵曾我佳城全集／泡亭の一夜◆近藤啓太郎（中9）白閃光◆安岡章太郎（中10）僕の昭和史Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ／方言の感傷／カーライルの家◆糸川英夫（中10）日本が危ない／糸川英夫の人類生存の大法則／21世紀への遺言◆鈴木健二（中18）対人学／世の中を生きる人間学◆鈴木謙一（中21）フランス美食の世界◆佐野繁（高2）北洋サケ・マス沖取り漁業の軌跡／サケの一生◆青木匡光（高4）肩書きがつく前に読む本◆一島英治（高4）麹◆井出欣治（高7）都市再生の人間学◆荻野亨（高8）お父さん奮闘記◆田中久夫（高9）管理者能力開発コース／社員研修教科書／企業内教育ガイドブック／職場管理の技法／人事管理実務／人材育成ガイドブック／教育研修ゲーム◆なかにし礼（高9）／赤い月（上下）／兄弟／戦場のニーナ／さくら伝説／愛人学／黄昏に歌え◆吉永満夫（高12）官僚法学批判◆杉山榮紘（高13）DVD・2007カリフォルニアワインのある風景◆林勝久（高13）東芝重電の歩み-技術への挑戦-◆岡田豊司（高14）工業英語を基礎とした特許英語◆小林徳明（高15）詩集・風のように花のように◆日下部綾子（高22）花とハーブの押し花ガーデン

寄贈図書ピックアップ

『僕の昭和史』 安岡章太郎
自分史がそのまま戦後日本社会史。時代が生々と伝わります。九段生の安岡さんは先生宅に居候までした劣等生？！（講談社）

『フランス美食の世界』 鈴木謙一
東京會舘の会長・鈴木氏。若いころから親しんだフランスの食を語る美食の真髄。料理のプロが絶賛するほどの名著です。（世界文化社）

『糸川英夫の人類生存の大法則』 糸川英夫
遊牧民ベドウィンを住宅に置いたら・・・強いリーダーが消え、諍いや犯罪が。科学者が人類の行く末を科学する慧眼「ベドウィンの法則」。（徳間書店）

OB・OG交流のページ

同期会・クラス会

中17 D組クラス会「15 D会」

10月25日正午から文京区シビックセンター25階の椿山荘で開き、旧友22名のうち14名が集まって歓談した。
後列左より－岡本、武井、茂木、小泉、井出、井上、玉川、阿部、岡田。前列左より－平野、世耕、瀬崎、知久、幡野。　（岡田民雄）

高12 同期会

11月10日、新橋にて3年ぶりに同期会を開催。加藤三郎先生、新幹線で来られた方々を含め64名が参加。昨年から九段高校は「公立中高一貫校」に成り、「至大荘」の良き伝統を生かし競争率12倍もの学校に生まれ変わった旨、菊友会からお話を得た。卒業写真を見ながら来られなかった方々にも話の花が咲き、今のお顔を見たいものだと思いつつ再会を誓い散会。
藤沢周平の一節から、「日残リテ 昏ルルニ 未ダ遠シ」。多謝。
（3組　谷貝友康）

高17 同期会

例外なく全員還暦を迎えた本会は、約90人の参加を得てエドモントホテルで11月10日に開催。先生方も3名ご列席。還暦を超えれば誰が誰だか、また先生・生徒の区別も仲々つかぬ有様。イベントも霞む程の賑わいで、会は盛大の内に二次会へとなだれ込んでいきました。二次会にも60名近くが参加。掘り炬燵の、いささか狭めの会場は密着度満点。2年後の更なる盛大を固く誓って散会しました。
（山本　勇）

高31・3年3組クラス会

暑さが残る9月15日、都の九段は現役九段高校生の九段祭初日。同日、我々31回卒3年3組は28年ぶりのクラス会を開催しました。
恩師の三上修先生を囲み22名が集い「大人のクラス会」を合言葉に皇居を見下ろせるレストラン・クィーンアリスにてフレンチ・フルコースでワイングラスを傾け、お堀に沈む夕日さし込む中で、熱く思い出を語り合いました。
その後、北の丸公園武道館前を全員で闊歩し、九段祭で燃ゆる母校玄関にて、2年後に取り払われる「都立九段高校」の表札前で記念撮影、我等が現役時代の後夜祭を思い出してフォークダンスを踊る旧友もいたりで、愉快なひと時でした。
その後、小さな小料理屋で膝っこぞうをぶっつけあう中、電気暗くして、太鼓鳴らし、肩組みアカペラで、至大荘歌やアリス、チューリップの歌を全員で喉がかれるまで大合唱でした。
根っこ同じき仲間は、あっつく、素敵だと感ずる元気いっぱいの楽しいクラス会となりました。

高18 還暦記念同期会105名、恩師3名集う

ベビーブーマーも干支一巡り。あと半巡り豊かな人生を！

卒業25年記念の同期会開催以来、5年ごとに開かれていた同期会を、卒業40年ではなく還暦に合わせて11月10日、ホテルグランドパレスにて開催致しました。
遠くは福岡や神戸・オランダ在住の105名の同期と恩師3名、菊友会からの来賓1名の109名が参加し、約3時間楽しい懐かしい時間を過ごしました。特に恩師からは「これからの人生幸せと楽しさをいつも心に」（山梨県から御参加いただいた酒井先生）、「いつまでもパートナーを大切に」（稲田先生）、「まだまだこれからという気概を持て、年は関係ない」（菊川先生）という還暦を迎えた私たちに、心に残るメッセージを頂きました。
各クラスの写真撮影会をスタートに高校時代の文化部・体育部・（帰宅部）の各クラブ毎にステージに立ち、出席者全員一人ひとりが自己紹介をしました。ここで初めて誰であるか判明し、改めて再会のシーンもありました。
最後にいつもの全員集合写真撮影・校歌斉唱と、あっという間の幸せな3時間でした。
その後の二次会へは46名が参加し、別れを惜しんでいました。次の同期会は4年後の卒業45年の開催を予定しています。
（坪井 広）

高14・卒業45周年同期会 たっぷり満足5時間

9月30日（日）午後2時、霞ヶ関ビル35F東京會舘に99名のメンバーが集合した。1月20日に7クラスで30名の世話人が第1回世話人会を持ってから8ヵ月の準備をした同期会だ。今回は2次会も同じフロアーで行う5時間にわたる長い会を準備し「話し足りない、飲み足りない」を言わない会を考えた。前日の首相辞任劇に揺れた首相官邸を眼下に見ながら、我々は高層ビルが無い時代にタイムスリップしてわいわい話しあった。
3組布川君の実行委員長としてメールを駆使した準備は特筆すべきものがあった。恩師の参加は田中義信先生、川田節子先生の2名で田中先生の近況報告では「実は私は英語が大嫌いだった」発言に皆で腹を抱えて笑った一コマもあった1日だった。
（高橋直人）

30周年同窓会を前にして、友情をあたため再会を約束しました。
（福田　隆）

九段祭真っ盛りの母校前で集合

OB会

柔道部 還暦OB会

11月17日に開催された還暦OB会は昭和40年卒業の高17回生を迎え、生存会員は94名になりました。初代高7回生から初参加の17回生まで各回生が参加し盛大に開催されました。
戦後、柔道部が復活してから55年目に当たる次回は'08年11月15日（第三土曜日）に開催予定です。OBは振るってご参加ください。　（髙井信義・高13）

一游会（水泳部）
家族・現役部員も交え伝統のＯＢ戦開催！

９月８日（土）九段高校室内プールにて水泳部伝統のＯＢ・ＯＧ戦が開催された。
朝10時の開会式には、中等教育学校の水泳部員16名を含む現役40名と若手ＯＢ・ＯＧ35名の計75名が勢揃い。その後年配のＯＢも続々と集合し、プールは歓声と水しぶきに包まれた。25メートルを１分丁度で泳ぐ珍妙レースや、親子で参加したメンバーのちびっ子レース等も交え計30レースに熱戦が展開され、今年は見事ＯＢ・ＯＧチームが勝利を飾った。
引き続き校内の教室で現役・ＯＢ交流会が開かれた。高1回廣瀬保先輩（77歳）から中等教育学校1年生（15歳）まで60歳以上も年齢差のあるメンバーが一同に会し、終始和やかな雰囲気の中、参加者全員で九段水泳部の伝統を確認しあった。
（赤司久雄・高15）

九蹴会（サッカー部）現役を交えたＯＢ戦と懇親会

11月17日（土）、九段高校サッカー部と、ＯＢ会である九蹴会による恒例のＯＢ戦が九段高校グランドで開催された。
時節柄、少々きびしい気候であったが、グランドには現役、ＯＢ計50人近くが揃い、元気にボールを追いかけた。
中でも数年前から始まったミニゲーム大会は、現役・ＯＢ混合で６チームにわけ予選リーグ・決勝トーナメントを行うイベントで、それぞれ力を合わせ頂点（景品？）を争い、白熱した。
夜はグランドパレスに会場を移し、懇親会。副会長の挨拶で乾杯し、現役顧問の小林教諭から現況報告、幹事の秋元氏から事務報告並びに幹事交替が発表され、新幹事に相川が任命された。会に参加した約30名は旧交を暖め、父と子ほどの年齢差のあるＯＢ同士の懇談もみられ、九蹴会の歴史と懐の広さを垣間見る思いがした。
（相川浩昭・高48）

ゴルフ・他イベント

第45回菊友ゴルフ大会

10月11日（木）よみうりゴルフ倶楽部で行われた。爽やかな好天の下、小林勝氏（中12）、橋本政雄氏（中13）の両氏をはじめ女性6名を含む29名が参加、和やかな中にも激戦が展開された。
優勝は高31の橘田裕介氏（グロス93、ネット70.6）、準優勝は高19の青木麗子氏（グロス98、ネット70.8）、ベスグロは高15の赤司（79）、シニアベスグロは中12の小林勝氏（93）。
表彰式を兼ねた懇親会は、参加者平均年齢66.6歳とは思えぬ熱気と歓声に包まれ、お互いにまだまだ元気であるところを確認しあった。（赤司久雄・高15）

高７回・秋のゴルフコンペ

高校7回生は79会ゴルフとして春と秋の年２回ゴルフコンペを開いています。
10月18日（木）宍戸ヒルズカントリー（茨城県、毎年日本プロが開催）のコースで秋晴れのもとスタート。古希を過ぎても遠く長野や福島からの参加を得て23名がプレーを楽しみました。伝統ある難しいコースで珍プレーも続出しましたが桑田会長の初参加もあって皆和気あいあいとコンペを終了、７回生の懇親が深まりました。次回ゴルフ幹事は高橋（清）、宮崎両君と決まり、５月22日に高橋君の住む福島近くへ新幹線で行く案も出ております。次回もみな元気で参加するよう約束してお開きとなりました。　（宮島　徹）

高13・遊九会ゴルフ＆観光

ゴルフだけでは参加人数が伸びず観光組も一緒に楽しもうという企画が大当りで25名が集結しました。台風一過の10月28日信州蕎麦の昼食から始まりマイクロバスで紅葉狩りを楽しんだ後は、同級の石田君が経営する石田館妙高ホテルへ。宴会が盛り上がった翌朝は好天下。同期６回目のコンペは名門赤倉ＧＣで行われ神尾女史が優勝しました。一方観光組は苗名の滝をはじめ素晴らしい妙高の秋を楽しみました。今春は山中湖で開催予定です。　（馬渕義彦）

第27回トーク会ゴルフコンペ

10月20日（土）、石坂ゴルフ倶楽部で開催された。高校19回生の有志が集うトーク会だが、今回は鎌田・埜瀬が初参加し、総計19名。40年ぶりに再会した仲間とも直ぐにうち解け、和気藹々とプレーは進んだ。
優勝は遠山君（グロス92ネット72）、準優勝は斉藤（真）君。いつも会場を提供して戴いている岡田繁先輩、ありがとうございます。　（鎌田直樹・埜瀬統）

第10回98対抗戦

11月5日(月) 石坂ゴルフ倶楽部で開催、双方10?12名の腕自慢が競いあった。9回生の連勝に、8回生が脱帽。先輩達との交流もあり、同期のゴルフ会とはひと味ちがった楽しいコンペだった。最後に叶屋君へ全員で黙祷して散会。次回はハンデを見直し、来年の4/23（水）取手国際を予定。（尾羽澤正敏・高9）

「ニッセイ・バックステージ賞」新小田大氏（高７）受賞

昭和30年代の我が国のオペラの黎明期から約50年に亘って百作品以上・約1800回の舞台でオペラ合唱を務め、多くの舞台を成功に導いた功績が認められました。
⇒詳しくは菊友会ホームページで

出版を祝う会

田久保忠衛氏（高３）

時事通信社・外信記者等を経て論壇に。現杏林大学客員教授

出版を祝う会　盛大に

10月22日、田久保菊友会顧問の『激流世界を生きて』の出版を祝って、日本記者クラブに250人が参集。加藤寛、西尾幹二氏など多数が発起人に名を連ねる中、代表挨拶に立ったのは櫻井よし子氏。「先生は利害、しがらみ、感情にとらわれない、大きな山のような方。日本が国際社会に貢献し、アジアのリーダーとなっていくことを真に考えている」と滔々と力を込めて述べ、その圧倒的な言辞に空気が静まりました。すかさず田久保氏、「只今は、舌鋒火を吹くような方に蜜のような祝辞をいただいて」と洒脱に返礼。会場がどっと沸きました。
この後、金美齢、渡辺昇一、石破茂氏と超大物が続々挨拶、菊友会の仲間も多数かけつけて祝福しました。
幾度もの手術を乗り越えた75歳の田久保氏。2時間余りを夫人と並んで立ち尽くされ、一つ一つの祝福に丁重に応えられる姿が印象的でした。
⇒著書は8㌻に紹介しました。

出版記念会

小林昌彦氏（高４）

毎日放送ニュースキャスターを経て独立。日本ペンクラブ会員

楽しい、美味しい出版記念会

小林氏の出版記念会は10月31日、東京會舘ローズルームで。280人余りが祝福に参じる中、菊友会員およそ50人。
代表挨拶の島村宜伸氏は「大臣を歴任した時の原稿他、みんな小林氏に起草してもらった」と披露し、氏の快挙を心から喜ばれました。同志社大学ゼミ仲間の土井たか子氏は「旧知の彼からは想像できない、この年で純愛小説を書くエネルギーに脱帽」と賛辞。一方、菊友会の同期は中学からのやんちゃ仲間だけに「気色悪くて読めるか」「道楽かと思った」「でもお前のおかげでアイルランドを知った」等々口さがなく、爆笑に次ぐ爆笑を誘いました。
記念会第二部は音楽。土屋康子氏（高5）の歌、ジャズバンドの演奏。小林氏は白いスーツに着替え、「本当はこれがやりたかった」と茶目っ気たっぷりに司会を務めました。３時間余り、サービス精神満点の記念会でした。
⇒著書は8㌻に紹介しました。

卒業生の皆さん！ 菊友会維持会費の納入を

菊友会を支えるのはあなたです

昨年に引き続き今年度も皆さんのご協力で、維持会費は順調に納入されており、ありがとうございます。

しかしながらここ数年、在籍会員の16％、2600人の会員からしか納入されておりません。菊友会は皆さんが納入してくださる会費でのみ運営されております。より充実し積極的な活動を実施するためにも会費の増収が必須です。

平成19年度もあと3ヵ月。今年度はなんとか20％を越えたいと思っています。菊友会の健全な財政運営のため、なお一層のご協力をお願いいたします。

平成19年度の維持会費の納入をお願いします

（平成19年4月1日～平成20年3月末日）

中1 ～ 高54回 3,000円
高55 ～ 高59回 1,000円 ＊会費減額期間

◆郵便振替でのご送金

郵便振替用紙に①住所②氏名③電話番号④卒業回⑤個人コード（封筒の宛名シールに印字されている番号）をお書きください。同封の振替用紙をお使いの場合は、高55～高59回の方は金額を訂正し、訂正印を押してください。
振り込み料は無料です。

◆銀行振込でのご送金

下記の銀行口座にお振込みください。上記①～⑤までを明記ください。

三菱東京UFJ銀行　神保町支店
普通口座：０６９１５５１　口座名義：菊友会

お知らせ

2008年菊友会大会

2008年の菊友会大会は10月18日（土）に開催されます。ぜひご参加ください。詳細は次号でご案内いたします。

工芸部ＯＢ会より寄付

工芸部ＯＢ会幹事・浅賀義彦（高14）から、4万780円が菊友会に寄付されました。どうもありがとうございました。

高9回古希の同期会

9月9日（火）15時～17時、九段会館で開催します。会費7000円予定（代表羽鳥徹郎）

高10回卒業50周年同期会

本年は高校を卒業して50年となります。節目の同期会を秋に開催したいと思います。詳細は次号81号菊友会報にて。
なお同期会の幹事長が、青木俊（4組）から高橋伸和（7組）に変わりました。

高13回懇親会

4月5日（土）、学士会館で夕方から開催いたします。世話人7組担当: 大熊・杉山・丸山・石井

菊友会員の新刊図書（関連記事を7ページに掲載しています）

田久保忠衛（高3）著
『激流世界を生きて―わが師わが友　わが後輩』

外信記者・研究者・教育者として、戦後の日本の歩みに重ね合わせるように生きた著者の回想録。政治的リアリストとしての旗幟も鮮明に描く。大切な人々の思い出には菊友会の面々、校歌の話も。　並木書房 1700円

小林昌彦（高4）著
『アラン島に消えた愛』

コリアンの裕子とアイリッシュの青年。互いの、虐げられた国家の出自が一瞬で共鳴し合う。その後、別々の人生を生きるが、北アイルランドの小島で邂逅。性的不能という障害も超えついに愛を実らせる。が、社会派の書く純愛は重い。　イースト・プレス 1600円

人気高まる九段中等教育学校

公立の中高一貫校が続々と生まれる中、九段の人気は増すばかり。九段中等の適正検査で重視するのは偏差値より「学力」。つまり考える力。だから入試対策は？？？らしいのです。

こんな本も出ました。2年連続、息子を九段に合格させた父親の手記『塾不要 親子で挑んだ 公立中高一貫校受験』（ディスカバー携書008）。

「塾不要」につられて読みましたが、"中学受験は親子受験"と実感するばかり。集中力の作り方など、受験を目指す人には実際的なヒントがありそうです。

九段ネットご利用のご案内

九段ネットは菊友会員相互の情報発信の場です。同期会・クラス会・ＯＢ会などのお知らせがございましたら、どうぞお気軽に菊友会事務局までお申し出ください。

九段ネットURL：http://www.kudan-net.com/
菊友会事務局メールアドレス：kikuyukai@kudan-net.com

菊友会事務局からのお知らせ

個人コードって何？

最近、個人コードについての質問が数多く寄せられています。個人コードの1桁目は旧制中学が1、併設中学が2、高等学校が3となります。また2桁目と3桁目が会員の皆様の卒業回数を表します。事務局にお問い合わせの際、個人コードの上記3桁を確認することがあります。

住所等変更のお届けを！

菊友会報を郵送しますと、毎回200通前後が転居先不明として返ってきます。会員の皆様に菊友会報をお届けするため、住所・姓が変わった場合は菊友会事務局にお知らせください。

同期会等支援サービス

菊友会では、同期会・クラス会・ＯＢ会のお手伝いのために各種のサービスを行っています。お知らせ葉書の印刷・発送、名札の印刷、また名簿の作成のお手伝いなどです。サービスの詳細は事務局までお気軽にお尋ねください。

事務局は毎週火・金の午前11時から午後4時半まで開いています（祝祭日を除く）。連絡はお手紙、メールの他、電話 03-3263-2448・Fax 03-3263-1033 となります。

理事会だより

定例理事会は毎月第2金曜に開催。担当理事からの各種報告、母校との連携、次の活動内容などを討議しています。菊友会への意見・要望など、遠慮なく事務局にお寄せください。

■6月度■

菊友会員も法人九段の会員になることが可能になり、現役理事26人を新規会員として申し込む／6月16日、至大荘80周年記念祝賀会に参加／高校より進路指導講演の依頼あり／会報79号発送。

■7月度■

至大荘懇親会運営方針確認／菊友会規約の検討を開始／九段高校進路講演会の講師を稲坂良弘氏（高13）に依頼。

■8月度■

中等教育学校の至大荘行事、赤司理事視察／至大荘懇親会8月25日～26日開催。80人が参加／菊友会ホームページ更新。

■9月度■

9月7日顧問会開催。法人九段の現況が報告される／高校九段祭・中等学校文化祭9月15・16日開催、髙橋理事長・田ノ倉理事ら見学。

■10月度■

平成21年4月の公益法人法改定に鑑み「法人九段検討委員会」を菊友会内に設置／菊友会大会開催／菊友ゴルフ大会開催／東京校歌祭参加。

■11月度■

寄贈図書が中等学校に引き継がれるよう高校と覚書を交わす／平成20年度菊友大会を10月18日（土）に決定／関西菊友会に会長、理事長出席。

編集後記

'08新年号より編集のお手伝いをさせて戴きました。

体力とヒマなら如何様にもお役に立ちたいとの思いで菊友会のお手伝いを始めたのですが、会報制作のようにアタマを使う仕事をあてがわれるとは…

これまでさらっと読み流していた会報ですが、作る立場になると不慣れな事ばかりで、先輩諸氏の足を引っ張らぬようびくびくしながらの初仕事でした。（松本茂夫）